

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

≪試料・情報の 利用目的及び 利用方法≫	●研究の名称 肝線維化の評価におけるデュアルエネルギーCT とテクスチャ解析の有用性に関する後ろ向き観察研究
	●研究の対象 2021年4月～2022年9月の期間に当院にて通常診療によりデュアルエネルギーCT でCT 検査を受け、肝生検または手術検体における肝線維化の病理学的診断を受けた方。また、2021年4月～2022年9月の期間に当院にて通常診療によりデュアルエネルギーCT でCT 検査を受け、肝疾患の既往がない方。
	●研究の目的 様々な病気で肝臓に損傷が生じると、その修復過程において肝線維化が生じることがあります。肝線維化が進行すると肝硬変となることが知られています。肝線維化の程度を評価することは重要ですが、現在は侵襲性の高い肝生検により行われています。近年発達し、臨床に普及しつつあるデュアルエネルギーCT は従来のCT よりも多くの情報を取得できる可能性があります。肝線維化の評価に有用かに対してはまだ不明な点が多くあります。この研究ではデュアルエネルギーCT の画像と特徴を数値化するテクスチャ解析を用いて、CT で肝線維化の評価が可能かを検討することを目的としています。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から 2025年3月まで
	●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
≪利用し、又は	●研究に使用する試料・情報

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>提供する試料・情報の項目 »</p>	<p>情報：病歴、治療歴、CT 画像、カルテ番号、病理検体番号 等</p>
<p>« 利用する者の範囲 »</p>	<p>●機関名および責任者名 浜松医科大学 放射線診断学講座 市川新太郎</p>
<p>« 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称 »</p>	<p>浜松医科大学 放射線診断学講座 市川新太郎</p>
<p>« 試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む) »</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。</p>
<p>« 資料の入手または閲覧 »</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>« 情報の開示 »</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>« 問い合わせ先 »</p>	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 放射線診断学講座 担当者： 市川新太郎</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

TEL : 053-435-2242

E-mail : [shintaro@hama-med.ac.jp](mailto:shintaro@hama-med.ac.jp)